

【山岳部】

登山の実施結果について(令和8年7月2日～同年9月2日実施分)

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	宇都宮高等学校	令和8年度赤雉山登山口	赤雉山 (栃木県日光市)	令和8年7月18日	1日 (日帰り)	13名	3名 (湯澤真一 鶴見勝司 齋藤明朋)	学校(6:45) … キスゲ平園地(8:25) … 丸山登山口(8:30) … 八方ヶ原(9:10) … 丸山山頂(9:45) … 赤雉山への分岐 … (10:50) … 小丸山展望台(10:55) … レストハウス(11:20) … 宇高(13:05)	1名	日本スポーツ協会 公認山岳コーチ1	第1号	雨 (0cm)	・前日の雨の影響で道がぬかるみ歩きづらくなっていることが予想され、当日も雨が降っていたので奥社跡までは行かないことを、アドバイザーとも相談し、校長に計画を短縮して実施することを報告した。 ・隊での行動のため、自分の体調は勿論のこと、周囲のメンバーの様子にも気を配り、コミュニケーションを取りながら行動するよう注意した。 ・丸山山頂で長時間の停滞を余儀なくされ、汗冷えによる寒さを訴える生徒もいたことからツェルトを使用して体温の保温に努めた。丸山から下り、赤雉山との分岐からそのまま、下山することを決定した。	・同行した副顧問が高湿度での行動により、軽い熱中症の症状により丸山手前で行動が停滞してしまった。	・雨の中の行動で、レインウェアを常時着用しての行動により発汗量が予想を上回ってしまった点。 ・気温としては熱中症を心配する状況ではなかったため、警戒が不十分だった点。	・副顧問は登山の経験に乏しかったため、正顧問やアドバイザーがもう少し副顧問の様子にも気を配る。 ・レインウェアのベンチレーションやファスナーを開放しながら歩くことで体感温度を下げる。 ・本人の自覚以上に発汗していたと思われるため、スポーツドリンクや塩分を意識的に補給して、脱水症に陥らないよう予防に努める。	・特になし
2	宇都宮高等学校	令和8年度白根山登山口	白根山 (栃木県日光市・群馬県利根郡片品村)	令和8年7月25日	1日 (日帰り)	19名	3名 (湯澤真一 鶴見勝司 齋藤明朋)	学校(7:00) … 菅沼登山口(9:00) … 弥陀ヶ池(10:45) … 標高2560M地点(12:00) … 弥陀ヶ池(14:15) … 菅沼登山口(16:15) … 宇高(18:50) ※本隊の行動時間を示した。 要救助生徒及び同伴者の正顧問の行動時間は含まれない。	1名	日本スポーツ協会 公認山岳コーチ1	第1号	曇り時々雨のち晴れ (0mm)	・樹林帯での行動中は暑く汗ばむほどだったので、ペースには配慮して水分や塩分・糖分補給には留意した。 ・隊での行動のため、自分の体調は勿論のこと、周囲のメンバーの様子にも気を配り、コミュニケーションを取りながら行動するよう注意した。 ・山頂手前の北側斜面を超えた辺りから風が強まり雨も吹き付けてきたため、登頂は断念し、そのまま往路を引き返す。長時間の停滞を余儀なくされ、汗冷えによる寒さを訴える生徒もいたことからツェルトを使用して体温の保温に努めた。	・下山中に、1年生の生徒1名が足の痙攣を発生し、歩行できなくなったため、消防・警察に救助要請。正顧問と当該生徒は救助隊に到着するまで待機した。 ・他の生徒は登山を中止し、副顧問、登山アドバイザーとともに下山した。 ・救助隊の到着後は、サポートを受けながら、自力歩行により下山した。	・休憩等で適切な塩分摂取ができていなかった。 ・当該生徒は学校生活における足のけがにより部活動の体力トレーニングに参加できない時期があり、かつ、本格的な登山は今回が初めてであった。	・行動中は塩分を摂取するよう促し、休憩時などに適切に塩分摂取したかどうか確認する。 ・けがや疾病等で十分にトレーニングが積めていないことが懸念される場合は、登山の同行について慎重に検討する。	・行動中は塩分を摂取するよう促し、実際に塩分摂取したかどうか確認すること。 ・けがや疾病等で十分にトレーニングが積めていないことが懸念される場合は、登山に同行させないことも検討すること。
3	宇都宮高等学校	夏山登山	金峰山・瑞牆山 (山梨県北杜市)	令和8年8月3日～8月5日	2泊3日	17名	3名 (湯澤真一 鶴見勝司 齋藤明朋)	【第1日】学校(6:50) … バス移動 … 瑞牆山荘(13:00) … 富士見平小屋キャンプ地で幕営(14:00)。15時半に夕食準備、19時半に就寝。 【第2日】3時半起床、朝食準備、幕営地出発(5:30) … 大日小屋(6:30) … 大日岩(6:55) … 小川山分岐(7:20) … 五文岩(9:40～10:05) … 大日岩(11:30) … 大日小屋(12:00) … 富士見平小屋(12:35)。15時半に夕食準備、19時半に就寝。【第3日】3時半起床、4時朝食準備、幕営地出発(5:10) … 天島川出合(5:35) … 瑞牆山(6:45～7:15) … 天島川出合(8:15) … 富士見平小屋(8:40) テント撤収し、瑞牆山荘まで下山(9:55)。借上バスで、北斗市内で入浴、中央道・東名道他を利用して学校に帰着(18:50)。	1名	日本スポーツ協会 公認山岳コーチ1	第1号	3日：晴れ 4日：曇り時々晴れ 5日：快晴 (0mm)	・メインザック行動が初めての1年生部員もいたため、瑞牆山荘から富士見平小屋までの登りはペース配分に気を配ってゆっくりめに登った。 ・上りは、1時間10分程度のペースで小休止をこまめに取り、水分と塩分を補給させた。 ・金峰山は稜線上に出てからの岩場ではヘルメットを着用させた。 ・瑞牆山は天島川出合からは岩場の連続となるため、ヘルメット着用を指示した。 ・幕営地でのマナーの遵守を意識させ、他の登山者とのトラブルに発展しないよう指導した。 ・登山行動中のほか幕営地での自由時間にも単独行動は厳禁であることを確認した。	特になし	特になし	特になし	・特になし
4	大田原高等学校	孤高のブナ保全登山(中倉山)	中倉山 (日光市)	令和8年8月1日	1日 (日帰り)	6名	3名 (高梨和幸 小磯怜士 深谷篤志)	JR黒磯駅5:27＝＝JR日光駅――銅親水公園8:30・登山開始8:40…中倉山登山口9:40…山頂付近分岐11:20…孤高のブナ12:00・保全活動…保全活動終了・登山再開12:35…中倉山山頂12:40・昼食・下山開始13:10…中倉山登山口14:30…銅親水公園15:30・キャンプ場へ移動開始	1名	日本スポーツ協会 公認山岳コーチ1	第1号	曇り (0cm)	隊の先頭は「森びとプロジェクト」の帯同班が務めた。急登ではあったが休憩を多くとり、保全活動、中倉山登頂を無事に行えることができた。	下山中に幼いヤマカガシを発見した。	事前に毒蛇等の学習をしていた。ヤマカガシはすぐさま逃げ、特に問題はなかった。ヤマカガシの発見を共有した。	特になし	・特になし